

# HANDS

Kokura Memorial Hospital

91

2023



いつもの暮らしに、いつものあなた

小倉記念病院

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野3丁目2番1号 TEL.093-511-2000(代表) [小倉記念病院](#) [検索](#)

TEL.093-511-2062(医療連携課) FAX.0120-020-027(医療連携課) FAX.093-511-2032(救急室) 夜間・休日における救急患者の情報のみ

## 【表紙】

現在の医療は、「治療の低侵襲化」という大きな潮流があり、大動脈弁狭窄症、僧帽弁閉鎖不全症、心房中隔欠損症、動脈管開存症、肺動脈弁狭窄症、左心耳閉鎖など、今まで外科治療でしか治療できなかった疾患に対してカテーテルで治療できる時代になりました。

# 進化するSHD Intervention

当院のSHD領域で大きな飛躍を遂げているのが、大動脈弁狭窄症への「TAVI」、僧帽弁閉鎖不全症への「MitraClip」、そして左心耳閉鎖術「WATCHMAN」だ。白井 伸一（TAVI）、磯谷 彰宏（MitraClip）、福永 真人（WATCHMAN）の3人は、国内でも有数の症例数を積み重ね、新たな医療をこの地域へ届けている。





## 循環器内科部長 白井 伸一

- ・日本内科学会 総合内科専門医 指導医
- ・日本循環器学会 専門医
- ・日本心血管インターベンション治療学会 専門医
- ・Valve委員 SHD委員 ASR/PFO特命委員
- ・日本経カテーテル心臓弁治療学会(JTVT)
- ・TAVR実施医・指導医
- ・経皮的僧帽弁接合不全修復システム認定術者
- ・経皮的心房中隔欠損閉鎖術認定術者
- ・左心耳閉鎖術(WATCHMAN)トレーニング受講終了
- ・Structure Club Japan 理事
- ・日本経カテーテル心臓弁治療学会 理事 指導医
- ・PCR Tokyo Valves program committee
- ・日本心血管脳卒中学会 学術評議員
- ・日本集中治療医学会

## 新たに生まれ変わるTAVI弁

これまで多くの症例で使用されてきたSPIEN3が新たに生まれ変わった。カルシウムブロッキング技術で留置後の機能不全をもたらす原因である弁尖の石灰化を抑制。さらに人工弁逆流を低減するためにTAVI弁を覆うスカートも改良された。またTAV in TAVと呼ばれるTAVIを行った患者さんに再治療が必要になった時に、再度TAVIを安全に留置できるようショートステントとなっている。こうしたデバイスの改善と術者の経験が積み重なり、より質の高いTAVIが実現できている。

# TAVI

症例数

# 1,965件

2023.2月末実績





## 循環器内科部長 磯谷 彰宏

- ・ESC, EACVI certification in Adult Transthoracic Echocardiography (ヨーロッパ心臓病学会成人経胸壁心エコー図 専門医)
- ・ESC, EACVI certification in Adult Transoesophageal Echocardiography (ヨーロッパ心臓病学会成人経食道心エコー図 専門医)
- ・ESC,HFA certification for professionals specialising in heart failure (ヨーロッパ心不全学会 心不全専門医)
- ・JB-POT (日本周術期経食道心エコー 認定医)
- ・SHD (Structural Heart Disease) 心エコー図認定医
- ・日本内科学会 認定医
- ・日本循環器学会 専門医
- ・日本心血管インターベンション治療学会
- ・日本超音波医学会
- ・日本心エコー図学会 専門医 心エコー図専門医
- ・日本心不全学会

## MitraClipを成功に導く心エコー医

MitraClipの実施施設基準には、日本周術期経食道心エコー (JB-POT) 認定試験合格者、もしくは「SHD 心エコー図認証医」が 1 名以上在籍すること、経食道心エコー検査を年間 100 例以上実施していること、リアルタイム3次元心エコー装置を有することなど”心エコー”への高い技術が求められている。日本人初となるヨーロッパ心不全学会 心不全専門医・ヨーロッパ心臓病学会成人経胸壁心エコー図専門医・ヨーロッパ心臓病学会成人経食道心エコー図専門医を取得した磯谷 彰宏が中心となって、この治療を進めている。

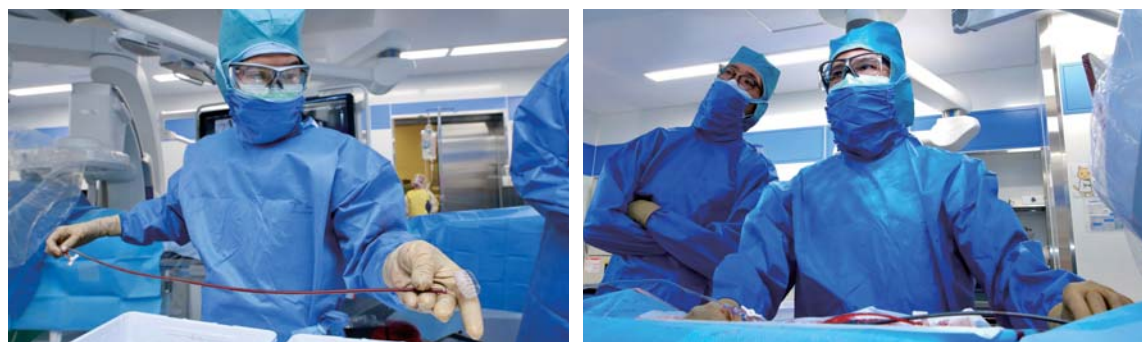
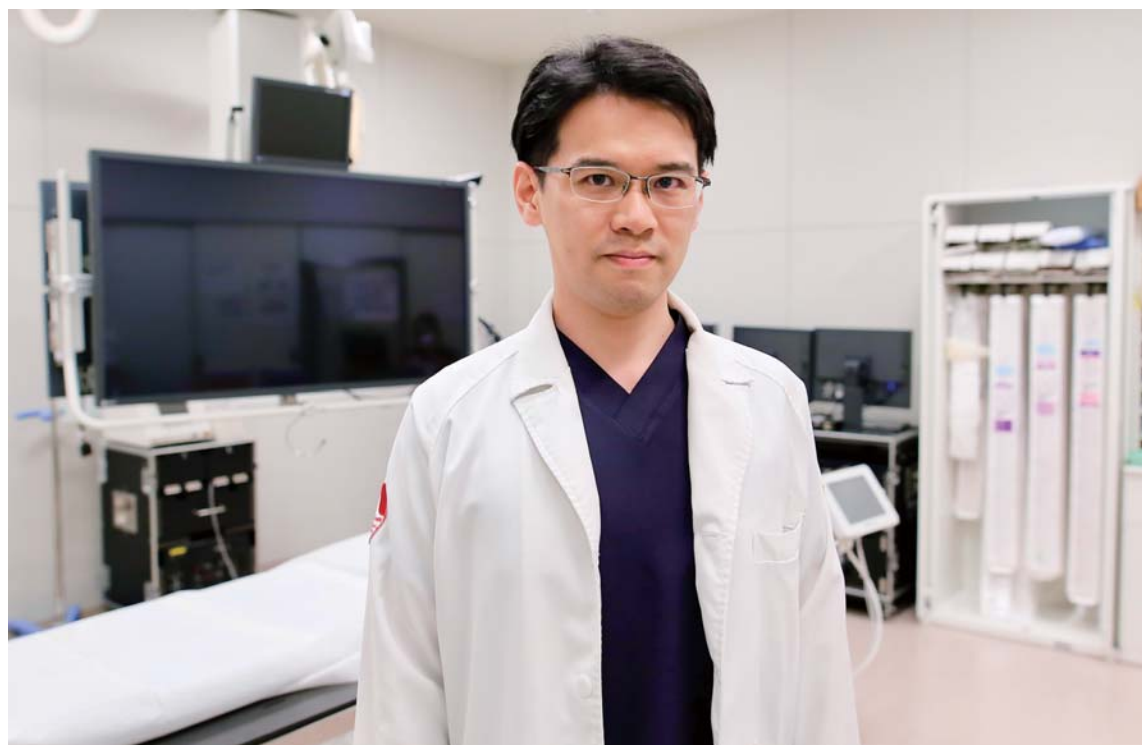
# MitraClip

症例数

315件

2023.2月末実績





## 循環器内科副部長 福永 真人

- ・日本内科学会 総合内科専門医
- ・日本循環器学会 専門医
- ・日本心血管インターベンション治療学会 認定医
- ・日本不整脈心電学会 専門医
- ・植え込み型除細動器
- ・ペースメーカーによる心不全治療 登録医
- ・経皮的リード拔去術者認定
- ・EHRA certified electrophysiology specialist (ECES) 専門医
- ・EHRA certified cardiac device specialist (ECDS) 専門医
- ・Boston社 WATCHMAN プロクター

## 抗凝固薬のリスクを回避するWATCHMAN

WATCHMAN は左心耳を永久的に閉鎖することができるデバイスだ。これにより抗凝固薬の服用を生涯卒業できる。抗凝固薬のリスクとして、消化管出血既往患者の再発リスクは5倍、脳梗塞を発症した患者が次の1年間で脳梗塞や出血性合併症を起こす確率は13.4%、透析患者に至っては、ワルファリンで脳梗塞のリスクは抑えられるが、その反面、出血のリスクが2倍以上になる。皮下出血のような小出血既往患者も、何もない患者に比べると生涯の大出血リスクは2.9倍になる。

# WATCHMAN

症例数

# 205件

2023.2月末実績



## 退職のご挨拶

この度小倉記念病院を3月末で退職することとなりました。  
2014年4月より9年間にわたり、大変お世話になりました。  
この間、医療界においては地域医療構想による病床機能再編、地域包括ケア病棟新設、新研修制度開始、病院経営基盤の悪化、新型コロナウイルス対策、働き方改革など多くの取り組むべき課題がありました。これに加え着任時は当院特有の問題もありどうなることやらと心配しました。  
しかし、皆様からの多くの支援を得て、何とか良い方向に向かったのではないかと振り返っております。当院の強みである心脳循環器疾患や腎疾患ではHybrid手術室の新設や新しいデバイスの導入、救急体制の向上を図りました。これに加え悪性腫瘍関連でも鏡視下手術やロボット手術の導入など地域医療に貢献できたのではないかと思います。  
4月より新院長となりますが、今後ともご高配を賜りますようお願い申し上げます。

永田 泉

